



スタンダード市場  
証券コード9265

# 2022年 5月期 決算説明資料

2021年 6月 1日 ~ 2022年 5月31日

(2022年7月14日発表 決算短信に基づく補足説明資料)

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社



## 【会社概要】



|         |                                                  |
|---------|--------------------------------------------------|
| 会 社 名   | ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社                            |
| 本社所在地   | 福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 博多座・西銀ビル10階                   |
| 資 本 金   | 4億9,402万5,000円                                   |
| 事 業 内 容 | 医療機器および関連商材の販売を主とするグループ事業<br>会社の経営管理、及びそれに付帯する業務 |
| 代 表 者   | 代表取締役 執行役員 社長 山下尚登                               |
| 上 場 市 場 | 東京証券取引所 スタンダード市場※                                |
| 証 券 コード | 9265                                             |
| 決 算 期   | 5月                                               |

※東証新市場区分に伴い2022年4月4日より、東証一部からスタンダード市場へ移行



# 【グループ概要】



## ヤマシタ ヘルスケア ホールディングス

YAMASHITA HEALTH CARE HOLDINGS, INC.

### 山下医科器械 (株)

汎用から高度医療機器、一般消耗品等の販売からアフターフォローまで、また医療IT構築や医療設備工事など多岐に渡って展開



### (株) イーピーメディック

整形外科領域の体内埋没材料（インプラント）を自社にて企画・製造委託・輸入・販売を全国的に行う



### (株) トムス

人工腎臓関連分野に強みをもち、透析装置や関連消耗品の販売の他、泌尿器関連機器の販売やメンテナンスを行う



### (株) アシスト・メディコ

医療機関の経営支援、介護施設を含む病床転換・M&A・事業承継等コンサルティング事業に特化したサービスを提供



### (株) イーディライト

医療機関の予約サイト制作取次やホームページ制作等、インターネットを活用したソリューションサービスを提供



### エムディーエックス(株)

DX新技術を活用した、医療・介護施設・在宅向けの新たな製品の開発、及び製品の販売・レンタル・保守サービスを行う



- 株式会社イーディライトは、2021年11月15日付にて当社持分法適用子会社から連結子会社に異動となりました。
- エムディーエックス株式会社は、2022年2月17日付にて当社出資100%連結子会社として設立いたしました。



## ヤマシタ ヘルスケア ホールディングス

YAMASHITA HEALTH CARE HOLDINGS, INC.



# 【当社グループの事業拠点】



**山下医科器械**  
佐賀支社・武雄営業所・唐津営業所・TMSセンター・鳥栖物流センター・鳥栖SPDセンター

**山下医科器械**  
佐世保本社・佐世保支社・長崎支社・長崎中央営業所・島原営業所・五島営業所・対馬営業所・長崎物流センター

**山下医科器械**  
熊本支社・八代営業所・天草連絡所  
**トムス** 熊本営業所

**山下医科器械**  
鹿児島支社・奄美連絡所  
**トムス** 鹿児島営業所



**ヤマシタヘルスケアHD** 本社  
**山下医科器械**  
福岡本社・福岡支社・北九州支社・筑後支社・福岡西営業所・筑豊営業所・大牟田営業所・メディプラザ・福岡SPDセンター・医療環境センター  
**イーピーメディック** 本社  
**トムス** 本社・福岡営業所・北九州営業所  
**アシスト・メディコ** 本社  
**イーディライト** 本社  
**エムディーエックス** 本社

**山下医科器械**  
大分支社・中津連絡所

**山下医科器械**  
宮崎営業所

**広島県**  
**山下医科器械** 東手城ヘルスケアモール  
**トムス** 中国営業所

**東京都** **エムディーエックス** 東京オフィス



# **1. 2022年5月期 業績の概況**

2. 事業分野別概要

3. 決算概要

4. 新中期経営計画

5. 長期ビジョン

6. 今期の見通し

7. 当社グループに関するご案内



## 【注記：業績概況の前に】



当社は当連結会計年度の期首より「新収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用しております。このため当期実績は、収益認識会計基準に基づいた数値となっております。

この収益認識会計基準の適用により、当累計期間における売上高は、前累計期間と比較して、大きく減少しております。このため、売上高については、収益認識基準における増減額および前期比（％）を記載しておりません。この点ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当該収益認識会計基準適用による影響はございません。



## 連結損益計算書

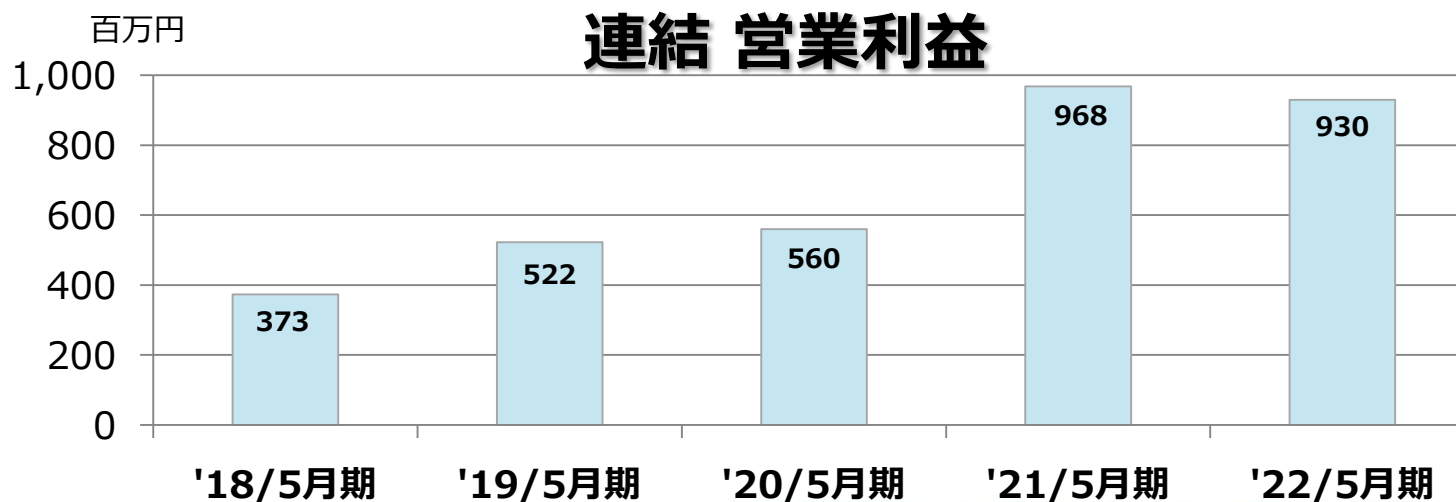
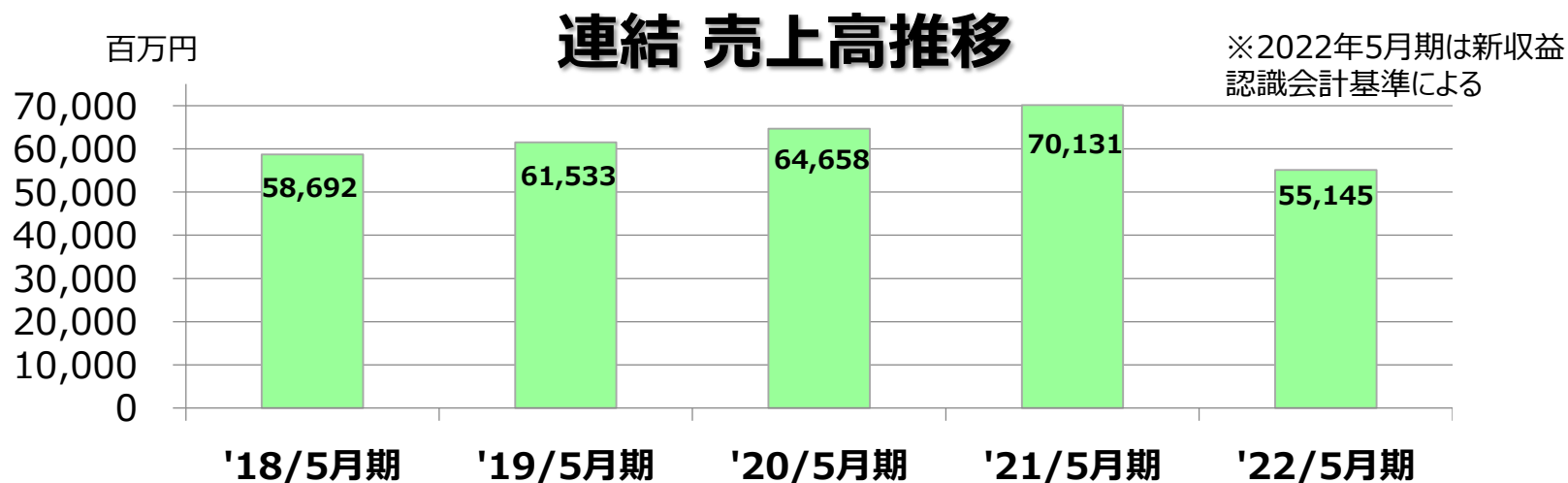
(単位：百万円)

|                      | 2021年5月期<br>(第4期) | 2022年5月期<br>(第5期) | 増減額     | 前年同期比<br>(%) |
|----------------------|-------------------|-------------------|---------|--------------|
| 新会計基準による<br>売上高      | —                 | 55,145            | —       | —            |
| (旧会計基準による<br>売上高)    | (70,131)          | (72,932)          | (2,801) | (104.0%)     |
| 売上総利益                | 7,510             | 7,724             | 214     | 102.8%       |
| 販売費及び一般管理費           | 6,541             | 6,793             | 252     | 103.9%       |
| 営業利益                 | 968               | 930               | △ 38    | 96.1%        |
| 経常利益                 | 1,026             | 1,003             | △ 23    | 97.8%        |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 678               | 696               | 18      | 102.7%       |





# 【連結売上高・営業利益推移】



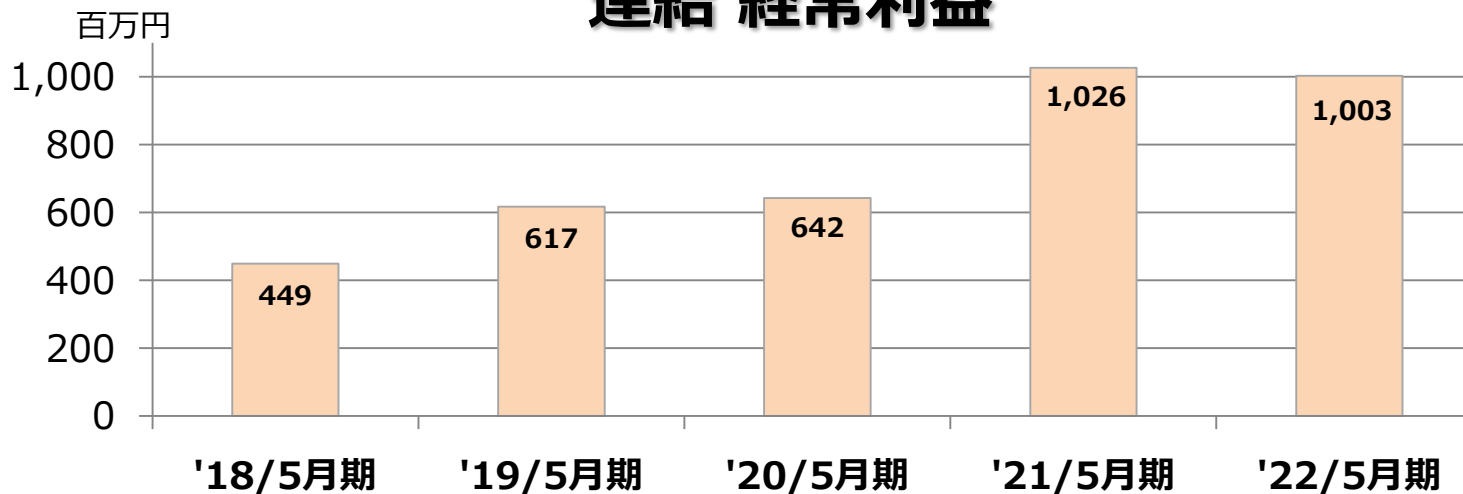




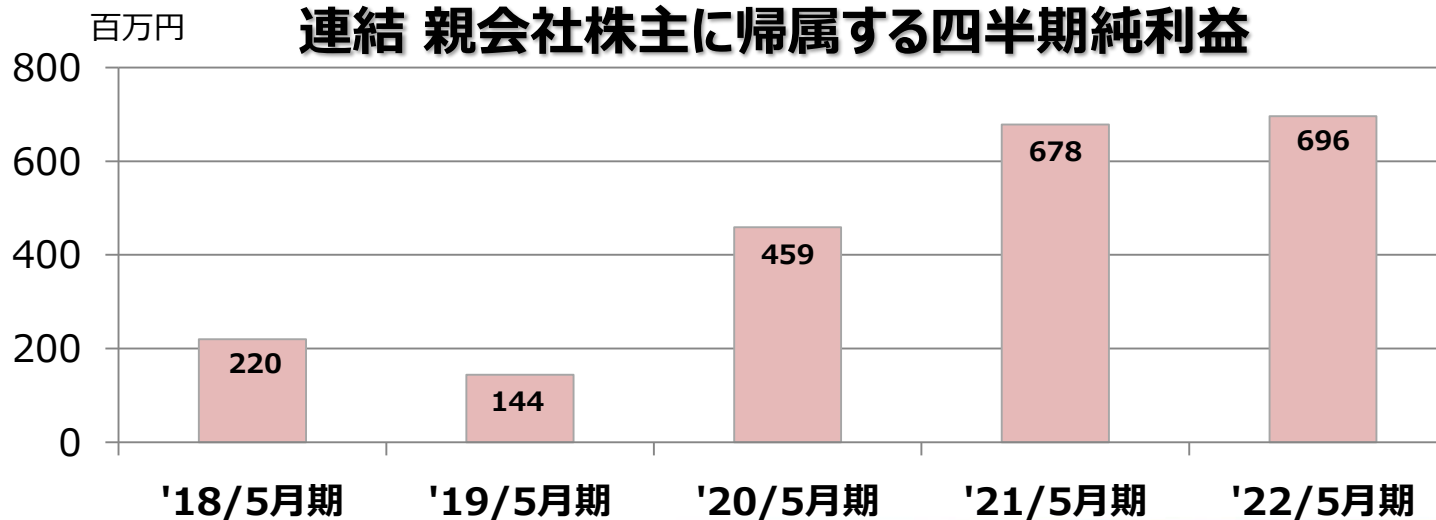
## 【連結経常利益・純利益推移】



### 連結 経常利益

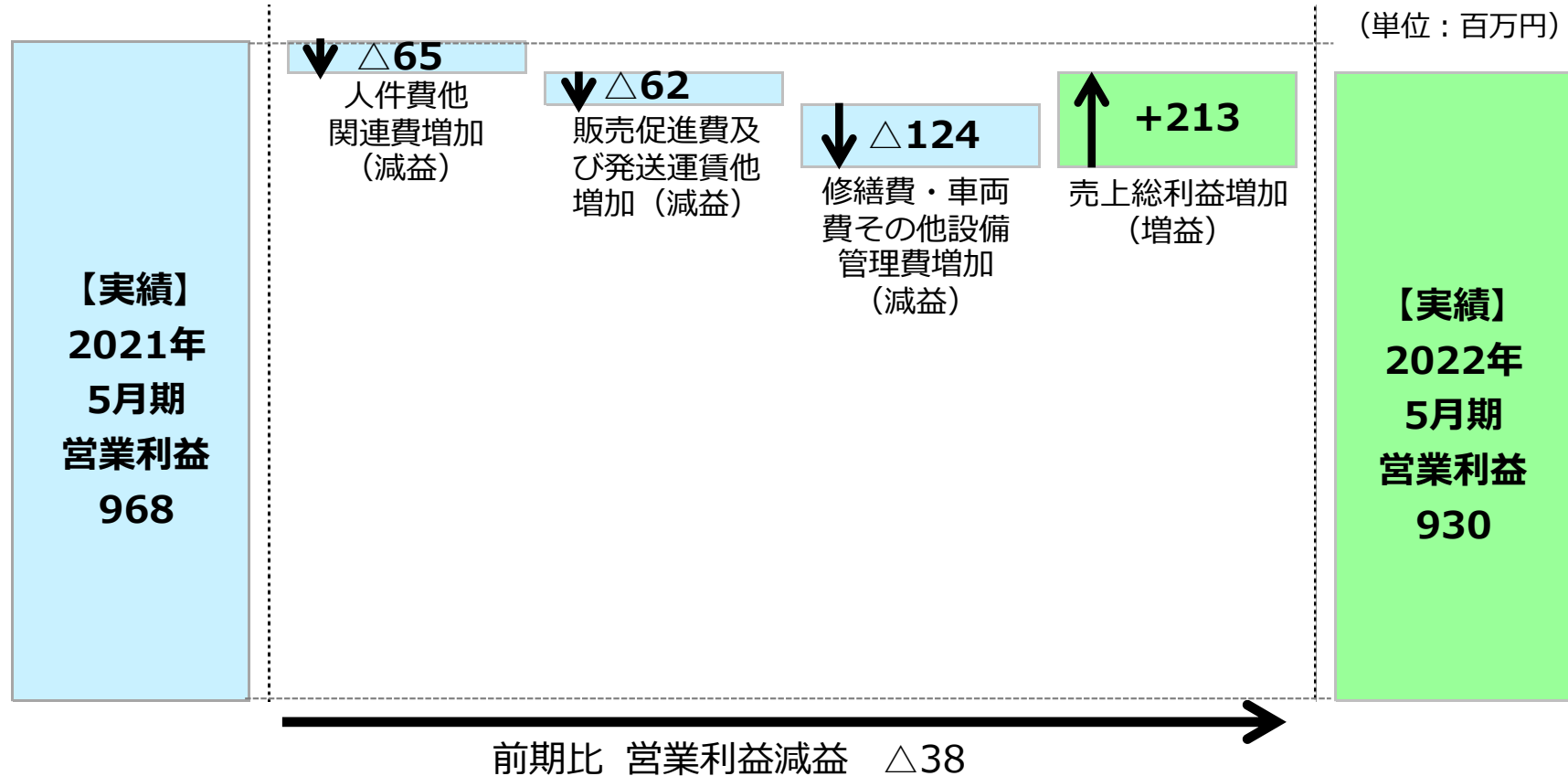


### 連結 親会社株主に帰属する四半期純利益



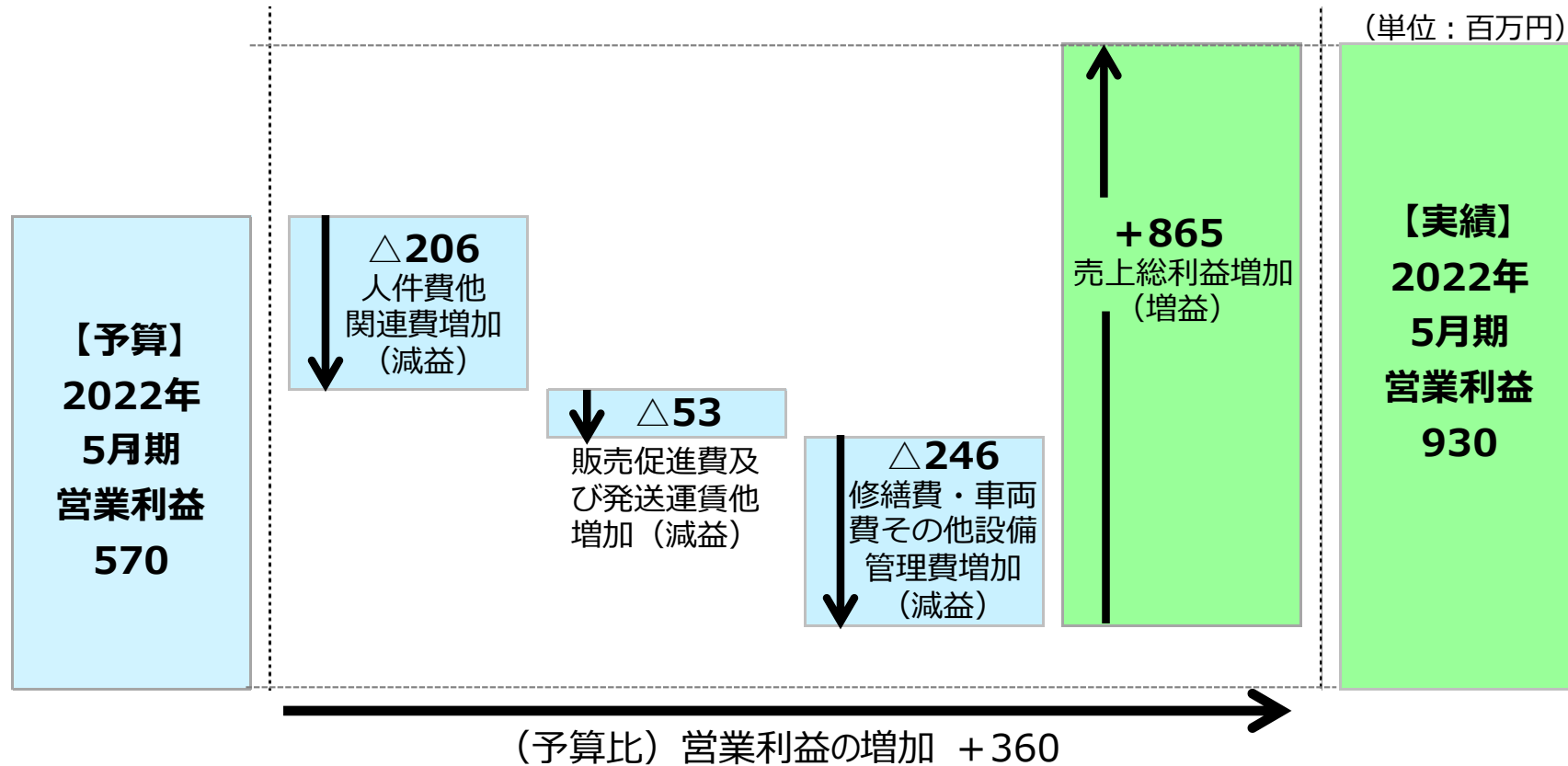


## ➤ 前期比 営業利益減の要因





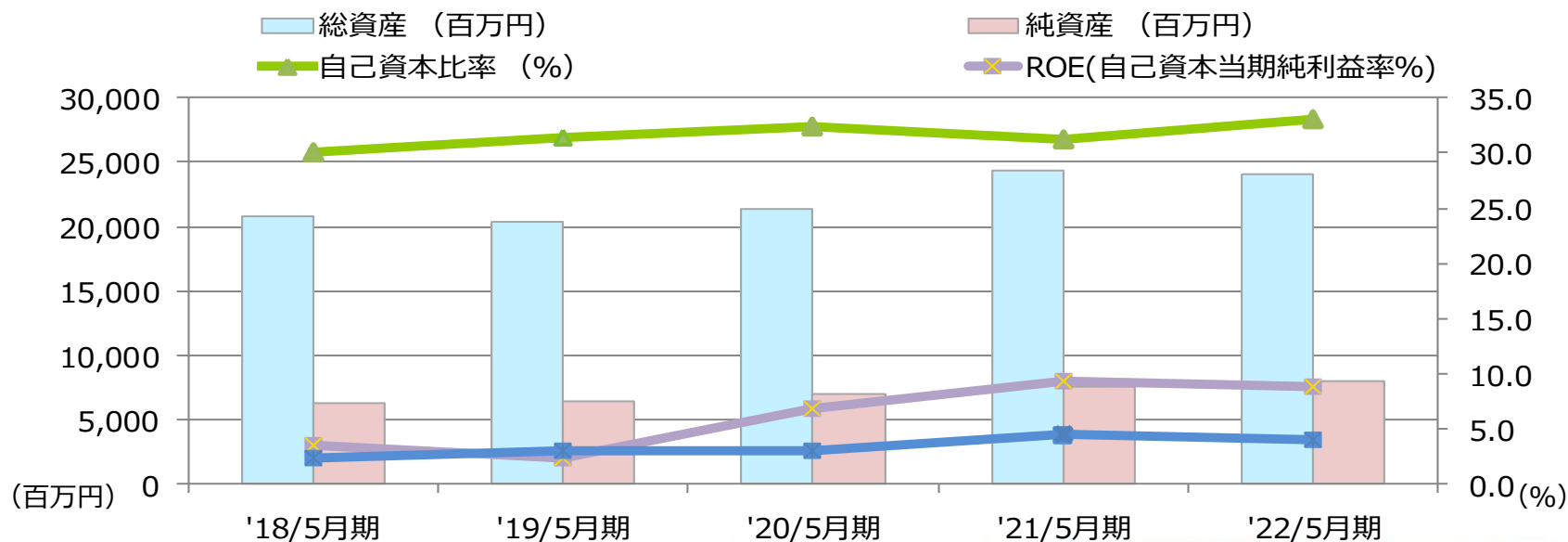
### ➤ 予算比 営業利益増の要因





## 連結貸借対照表推移

|                  | '18/5月期 | '19/5月期 | '20/5月期 | '21/5月期 | '22/5月期 |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総資産（百万円）         | 20,813  | 20,320  | 21,425  | 24,322  | 24,086  |
| 純資産（百万円）         | 6,273   | 6,372   | 6,938   | 7,579   | 8,005   |
| 自己資本比率（%）        | 30.1    | 31.4    | 32.4    | 31.2    | 33.1    |
| ROE(自己資本当期純利益率%) | 3.6     | 2.3     | 6.9     | 9.3     | 8.9     |
| ROA(総資産経常利益率%)   | 2.3     | 3.0     | 3.1     | 4.5     | 4.1     |





1. 2022年5月期 業績の概況

## **2. 事業分野別概要**

3. 決算概要

4. 新中期経営計画

5. 長期ビジョン

6. 今期の見通し

7. 当社グループに関するご案内



# 【事業分野別の販売実績】



## 各セグメント業績

| 区 分         |           | 当 連結累計期間 |       | (※参考) 収益認識会計基準適用前 |         |          |         |              |              |
|-------------|-----------|----------|-------|-------------------|---------|----------|---------|--------------|--------------|
|             |           |          |       | 前 連結累計期間          |         | 当 連結累計期間 |         | 増減額<br>(百万円) | 前年同期比<br>(%) |
|             |           |          |       | 金額 (百万円)          | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |              |              |
| ① 医療機器販売業   | 一般機器分野    | 8,441    | 15.3% | 13,331            | 19.0%   | 13,022   | 17.9%   | △ 309        | 97.7%        |
|             | 一般消耗品分野   | 23,181   | 42.0% | 23,150            | 33.0%   | 23,845   | 32.7%   | 694          | 103.0%       |
|             | 低侵襲治療分野   | 12,563   | 22.8% | 16,304            | 23.2%   | 17,428   | 23.9%   | 1,123        | 106.9%       |
|             | 専門分野      | 9,561    | 17.3% | 11,304            | 16.1%   | 11,968   | 16.4%   | 663          | 105.9%       |
|             | 情報・サービス分野 | 1,212    | 2.2%  | 5,630             | 8.0%    | 6,473    | 8.9%    | 843          | 115.0%       |
| 小 計         |           | 54,960   | 99.7% | 69,721            | 99.4%   | 72,738   | 99.7%   | 3,016        | 104.3%       |
| ②医療機器・製造販売業 |           | 287      | 0.5%  | 359               | 0.5%    | 287      | 0.4%    | △ 72         | 79.9%        |
| ③医療モール事業    |           | 68       | 0.1%  | 67                | 0.1%    | 68       | 0.1%    | 1            | 101.5%       |
| ④セグメント間取引   |           | △ 170    | -0.3% | △ 16              | 0.0%    | △ 161    | -0.2%   | △ 145        | —            |
| 合計 ①+②+③+④  |           | 55,145   | 100%  | 70,131            | 100%    | 72,932   | 100%    | 2,801        | 104.0%       |



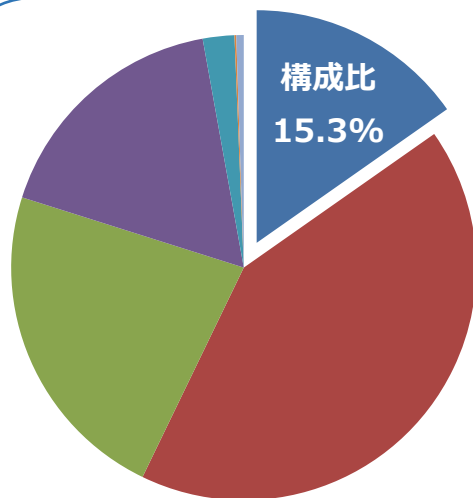
# 【各事業分野特記事項】



## 各セグメント状況（業績要因）

| 医療機器販売業<br>区 分 |           | 連結売上高<br>(百万円) | 要 因                                                                              |
|----------------|-----------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| ① 医療機器販売業      | 一般機器分野    | 8,441          | CT診断装置や高精度放射線治療システム等の売上が増加し、コロナ関連や生体情報モニタリングシステムを含む医療機器備品の売上も堅調に推移したが、前年比微減となった。 |
|                | 一般消耗品分野   | 23,181         | 特に感染対策および手術関連消耗品等によって売上が大きく伸びたことにより、消耗品全体の売上もまた大きく牽引され、前年比増となった。                 |
|                | 低侵襲治療分野   | 12,563         | 循環器関連商品は前年に比べて微増ではあったものの、症例数の復調により内視鏡システムやビデオスコープ等の内視鏡備品が大きく伸びたことにより前年比増となった。    |
|                | 専門分野      | 9,561          | 感染症検査機器や病理検査機器といった理化学機器、同消耗品の売上増が牽引し、前年比増となった。                                   |
|                | 情報・サービス分野 | 1,212          | 医療IT分野にて、ベッドサイド情報システムや電子カルテ等の備品や同消耗品等の売上増により、前年比増となった。                           |
| 小 計            |           | 54,960         | ※上記これら要因は収益認識会計基準適用前を考慮したものととなります。                                               |
| ②医療機器・製造販売業    |           | 287            | コロナ禍の影響等もあり前半は症例数が伸び悩み、その結果整形外科用インプラント等の売上が前年比減となった。                             |
| ③医療モール事業       |           | 68             | コロナ禍からの復調によりテナント賃料が前年比増となった。                                                     |
| ④セグメント間取引      |           | △ 170          |                                                                                  |
| 合計 ①+②+③+④     |           | 55,145         |                                                                                  |



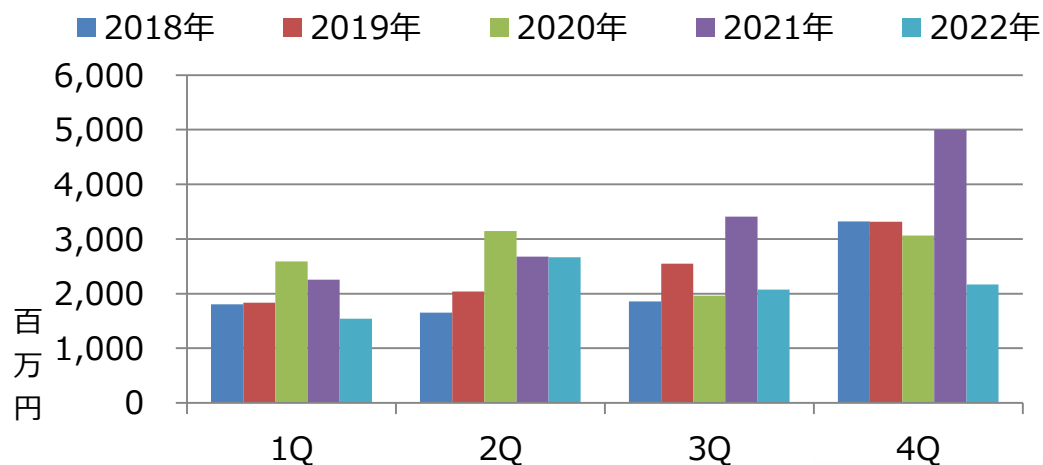


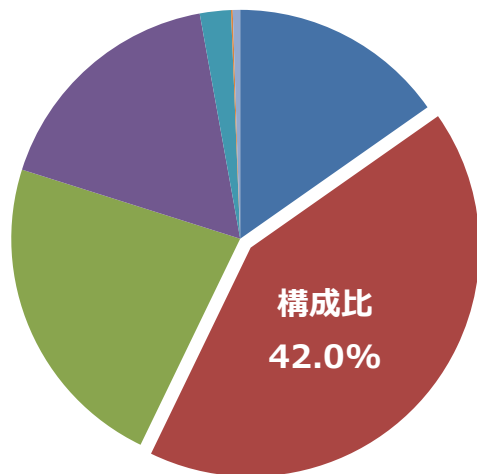
## 【一般機器分野】

- 売上高： 84億41百万円
- 前期比： 2.3%減

コロナ関連や生体情報モニターを含む医療機器備品の売上も堅調に推移したが、前年同期比微減

### ■ 一般機器の売上高推移（四半期別）





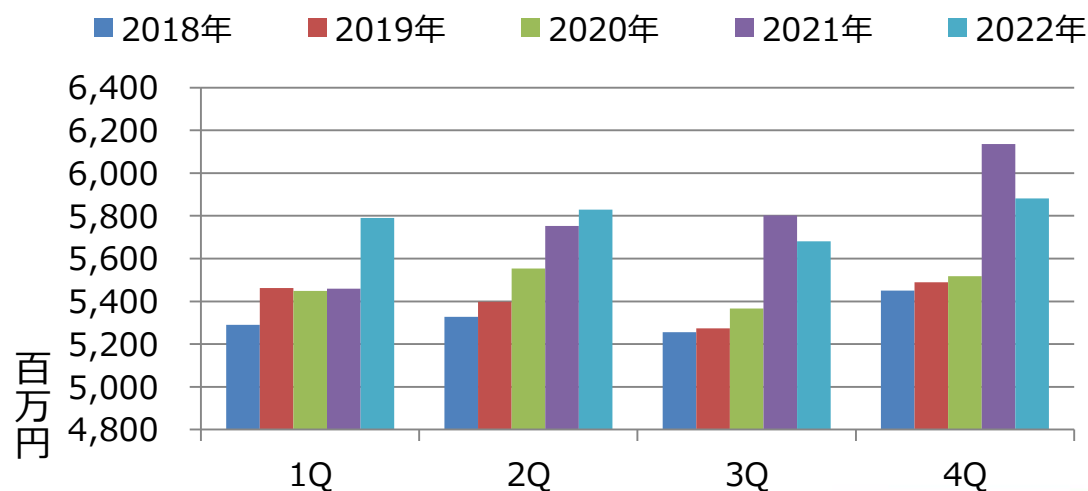
## 【一般消耗品分野】

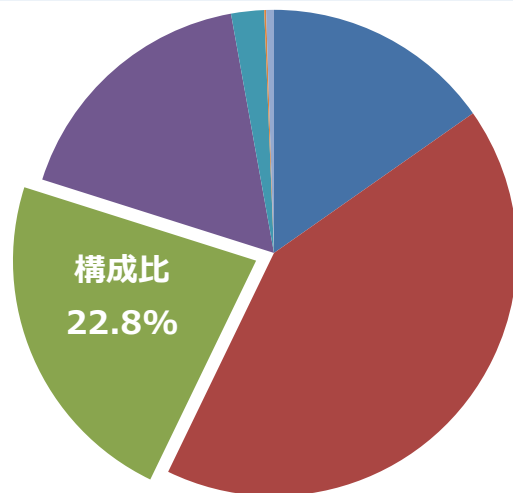
■売上高： 231億81百万円

■前期比： 3.0%増加

特に感染対策および手術関連消耗品等の売上によって前年同期比増となった

### ■一般消耗品の売上高推移（四半期別）



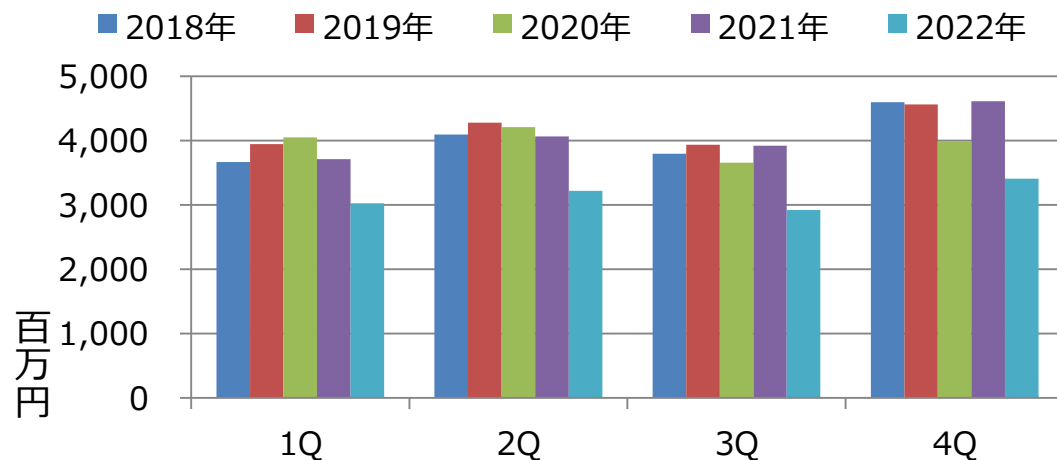


## 【低侵襲治療分野】

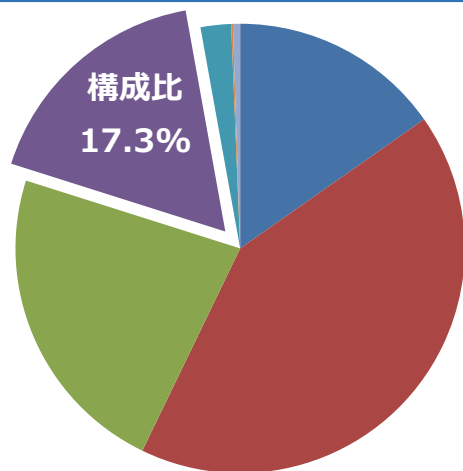
- 売上高： 125億63百万円
- 前期比： 6.9%増加

症例数の復調により内視鏡システムやビデオスコープ等の内視鏡備品が大きく伸びた

### ■ 低侵襲治療分野の売上高推移（四半期別）



画像提供：オリンパスマーケティング株式会社



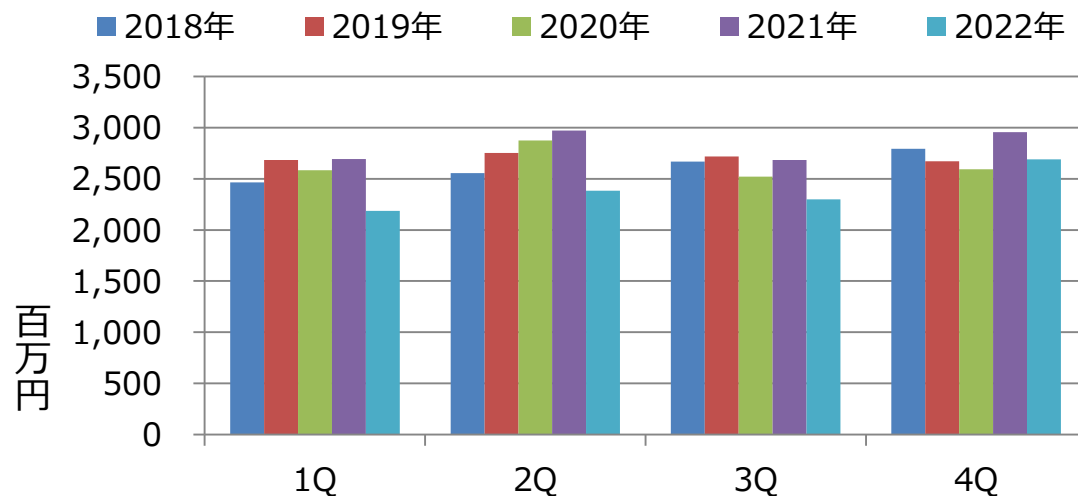
## 【専門分野】

■ 売上高： 95億61百万円

■ 前期比： 5.9%増加

PCR検査機器などの理化学機器、同消耗品の売上増などによる前年比増

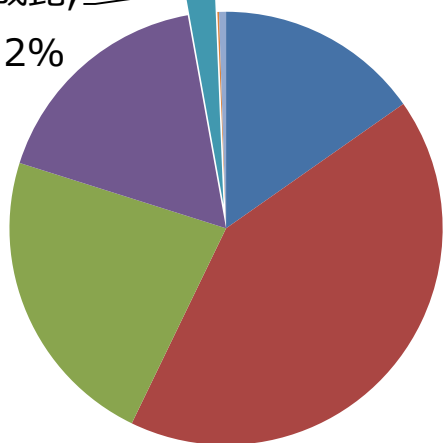
## ■ 専門分野の売上高推移（四半期別）



画像提供：Abbott社（新型コロナ検査装置 ID NOW）



構成比,  
2.2%



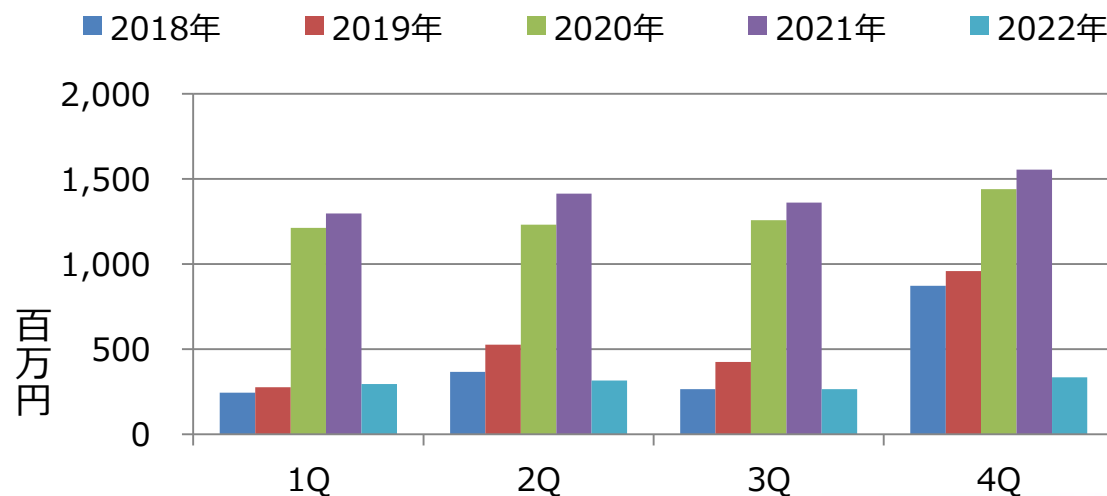
## 【情報・サービス分野】

■ 売上高： 12億12百万円

■ 前期比： 15.0%増

ベッドサイド情報システムや電子カルテ等の備品  
や同消耗品等の売上増による

### ■ 情報・サービス分野の売上高推移（四半期別）

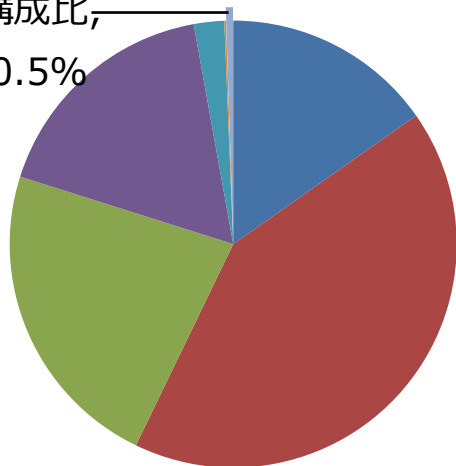


クラウド型電子カルテ





構成比,  
0.5%



## 【医療機器製造・販売業】

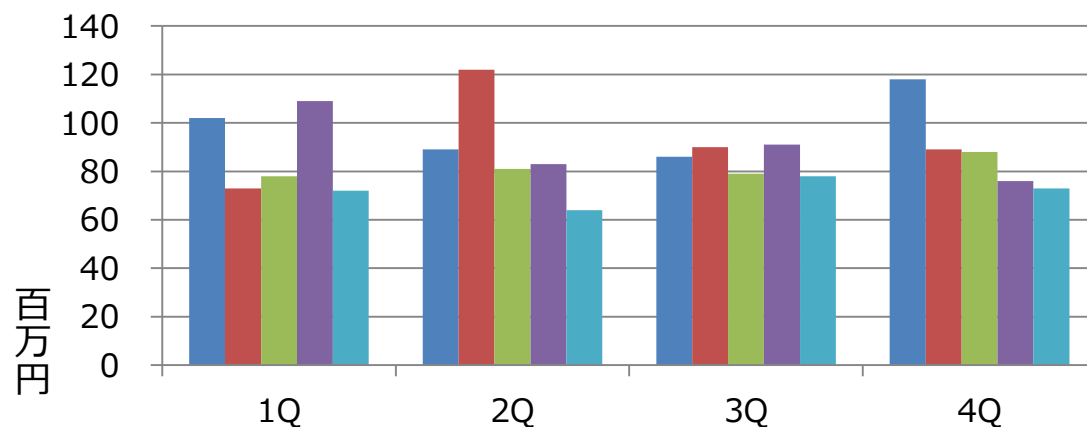
■ 売上高： 2億87百万円

■ 前期比： 20.1%減

症例数が伸び悩み、その結果整形外科用インプラント等の売上が前年比減

### ■ 医療機器製造・販売業の売上高推移（四半期別）

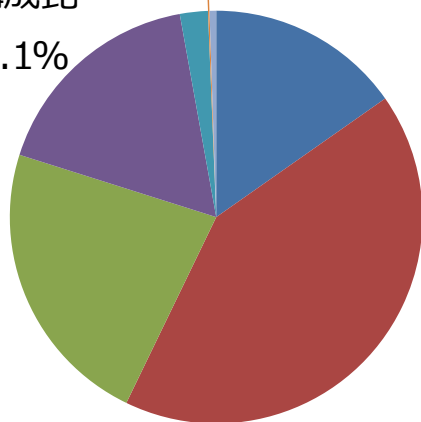
■ 2018年 ■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年







構成比  
0.1%

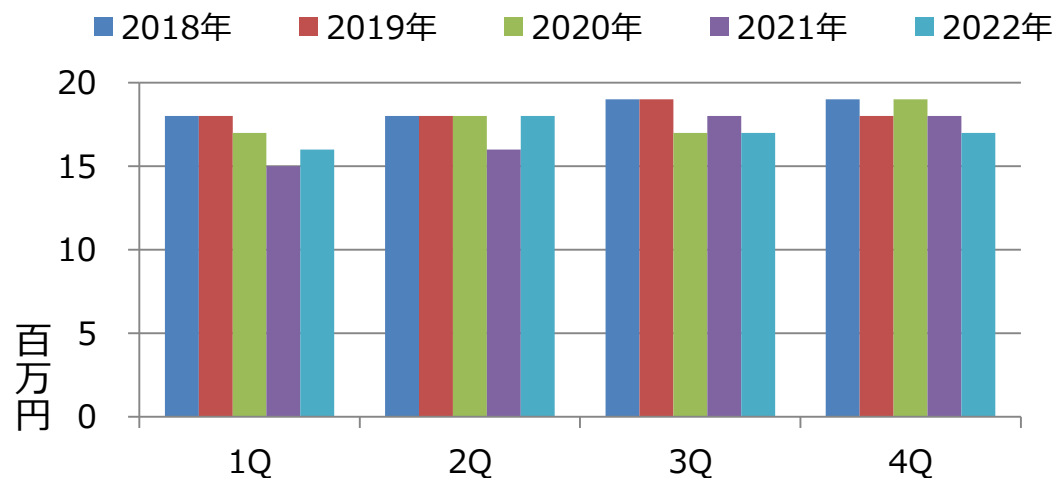


## 【医療モール事業】

■ 売上高： 68百万円  
■ 前期比： 1.5%増

東手城ヘルスケアモール（広島県福山市）運営  
による賃料収入増加

### ■ 医療モール事業の売上高推移（四半期別）







1. 2022年5月期 業績の概況

2. 事業分野別概要

### **3. 決算概要**

4. 新中期経営計画

5. 長期ビジョン

6. 今期の見通し

7. 当社グループに関するご案内



## 【連結損益計算書】



(百万円)

|                    | 2021年5月期 | 2022年5月期 | 対前期比 (%) |
|--------------------|----------|----------|----------|
| 売上高                | 70,131   | 55,145   | 78.6%    |
| 売上総利益              | 7,510    | 7,724    | 102.8%   |
| 販売管理費              | 6,541    | 6,793    | 103.9%   |
| 営業利益               | 968      | 930      | 96.1%    |
| 経常利益               | 1026     | 1003     | 97.8%    |
| 税引前当期純利益           | 1051     | 1025     | 97.5%    |
| 親会社に帰属する当期純利益      | 678      | 696      | 102.7%   |
| EPS 一株当たり当期純利益 (円) | 265.77   | 272.67   | 102.6%   |
| ROE 自己資本当期純利益率 (%) | 9.3      | 8.9      | 95.7%    |



# 連結貸借対照表



(百万円)

|           | 2021年5月期 |         | 2022年5月期 |         |
|-----------|----------|---------|----------|---------|
|           | 金額       | 構成比 (%) | 金額       | 構成比 (%) |
| 流動資産      | 18,987   | 78.1%   | 18,793   | 78.0%   |
| 現金・預金     | 3,652    | 15.0%   | 3,975    | 16.5%   |
| 売上債権      | 12,153   | 50.0%   | 11,906   | 49.4%   |
| 棚卸資産      | 2,916    | 12.0%   | 2,683    | 11.1%   |
| 固定資産      | 5,334    | 21.9%   | 5,293    | 22.0%   |
| 有形固定資産    | 3,512    | 14.4%   | 3,463    | 14.4%   |
| 総資産       | 24,322   | 100.0%  | 24,086   | 100.0%  |
| 流動負債      | 16,251   | 66.8%   | 15,555   | 64.6%   |
| 仕入債務      | 14,496   | 59.6%   | 13,902   | 57.7%   |
| 固定負債      | 491      | 2.0%    | 525      | 2.2%    |
| 負債合計      | 16,742   | 68.8%   | 16,081   | 66.8%   |
| 純資産合計     | 7,579    | 31.2%   | 8,005    | 33.2%   |
| 負債及び純資産合計 | 24,322   | 100.0%  | 24,086   | 100.0%  |



# 連結キャッシュ・フロー計算書



(百万円)

|                      | 2021年5月期 | 2022年5月期 |
|----------------------|----------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 911      | 581      |
| 税引前当期純利益             | 1,051    | 1,025    |
| 売上債権の増減額 (△は増加)      | △ 2,005  | 247      |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加)      | △ 200    | 241      |
| 仕入債務の増減額 (△は減少)      | 2,081    | △ 604    |
| 法人税等の支払額             | △ 258    | △ 488    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △ 134    | △ 27     |
| 有形固定資産の取得による支出       | △ 145    | △ 107    |
| 子会社株式取得による収入         | —        | 100      |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 639      | 323      |
| 現金及び現金同等物の期末残高       | 3,652    | 3,975    |

## **【方針①】株主資本利益率（ROE）10% を目標**

- ✓ 健全な財務体質を維持しつつ、収益構造を見直し、株主資本の効率的運用により企業価値を向上させる

## **【方針②】自己資本比率 30%以上 の維持**

- ✓ 環境が更に厳しくなることが予想される中、財務基盤の安定性を重視

## **【方針③】配当性向 30%**

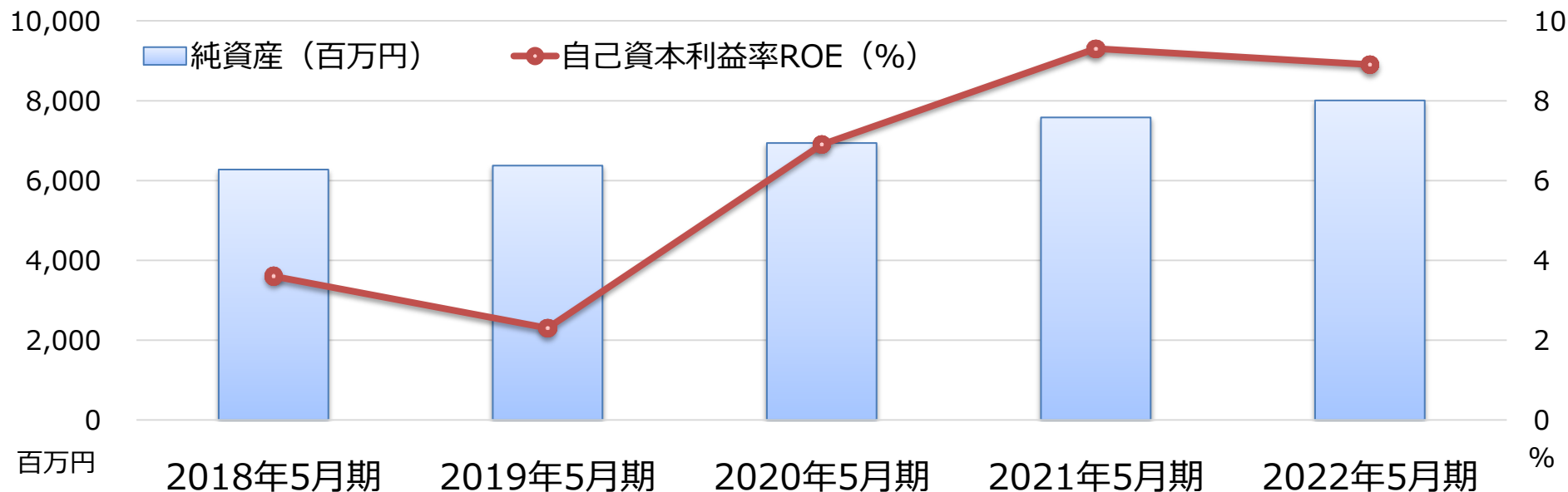
- ✓ 株主・社員・会社の三者のバランスを重視した利益還元を維持



## 方針① 株主資本利益率（ROE）10%を目標



### 堅実な事業拡大を基本とし、収益性の維持・向上を図る

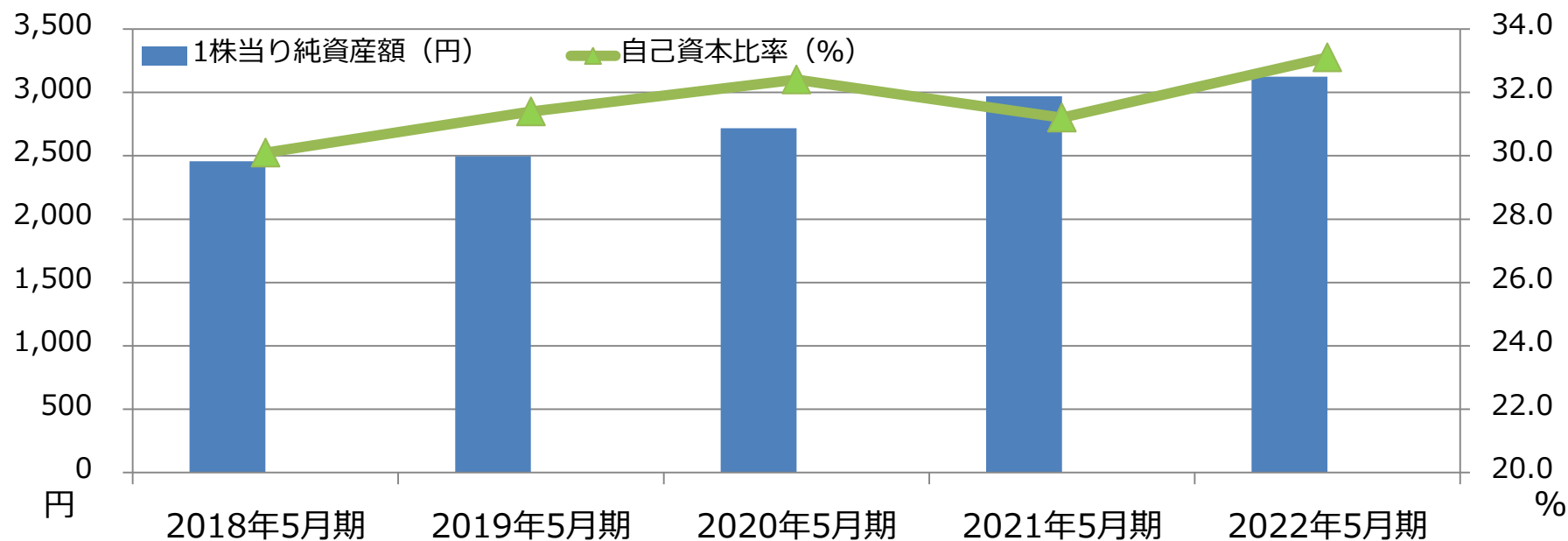


|               | 2018年5月期 | 2019年5月期 | 2020年5月期 | 2021年5月期 | 2022年5月期 |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 純資産（百万円）      | 6,273    | 6,372    | 6,938    | 7,579    | 8,005    |
| 自己資本利益率ROE（%） | 3.6      | 2.3      | 6.9      | 9.3      | 8.9      |





### 健全な資本構成を維持しながら株主価値の向上に努める



|               | 2018年5月期 | 2019年5月期 | 2020年5月期 | 2021年5月期 | 2022年5月期 |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1株当たり純資産額 (円) | 2,457    | 2,496    | 2,717    | 2,969    | 3,126    |
| 自己資本比率 (%)    | 30.1     | 31.4     | 32.4     | 31.2     | 33.1     |



## 方針③ 配当性向30%

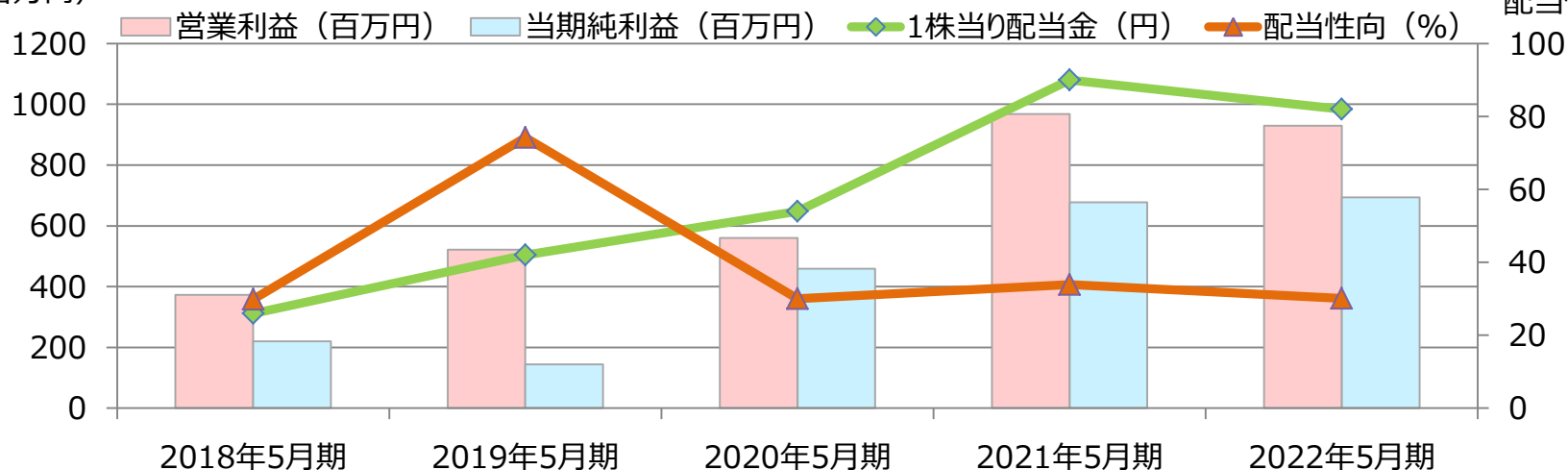


### 配当の安定性に配慮

#### 配当性向と当期純利益の推移

営業利益  
当期純利益  
(百万円)

配当金(円)  
配当性向(%)



|             | 2018年5月期 | 2019年5月期 | 2020年5月期 | 2021年5月期 | 2022年5月期 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1株当り配当金 (円) | 26       | 42       | 54       | 90       | 82       |
| 営業利益 (百万円)  | 373      | 522      | 560      | 968      | 930      |
| 当期純利益 (百万円) | 220      | 144      | 459      | 678      | 696      |
| 配当性向 (%)    | 29.9     | 74.2     | 30.0     | 33.9     | 30.1     |



1. 2022年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要

## **4. 中期経営計画**

5. 長期ビジョン
6. 今期の見通し
7. 当社グループに関するご案内



2024年5月期に向けた中期経営計画では、次のような「基本方針」「主要施策」「業績目標」を掲げております。

### **【基本方針】**

**『持続成長可能な体制構築を目指し、継続的な収益拡大に向け、ヘルスケア領域でのグループ力の向上を図る』**

### **【主要施策】**

- (1) グループの一体化と戦略機能の強化
- (2) 重点事業領域の拡充
- (3) グループ経営管理機能の強化
- (4) ダイバーシティ環境の実現
- (5) ESG 経営への取り組み
- (6) 戦略的人材マネジメントの確立



### 【業績目標】 本計画最終年度となる「2024年5月期の業績目標」

|            | 「収益認識に関する会計基準」 |           |
|------------|----------------|-----------|
|            | 勘案前            | 勘案後 ※     |
| (1) 連結売上高  | 67,500百万円      | 52,000百万円 |
| (2) 連結営業利益 | 620百万円         | 620百万円    |
| (3) 連結経常利益 | 680百万円         | 680百万円    |

※当社は2022年5月期より、収益認識会計基準（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、上記の予想は、収益認識会計基準に基づいた予想となっております。

なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、収益認識会計基準適用による影響はございません。



1. 2022年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 新中期経営計画
- 5. 長期ビジョン**
6. 今期の見通し
7. 当社グループに関するご案内



当社グループは、不確実で先が読みにくい時代が続くものと認識し、サステナブルな成長を実現するため、将来から今をみるバックキャスト発想で8年後の当社グループのありたい姿を見据えた、以下長期ビジョンを策定いたしました。

私たちがありたい姿を掲げ、当社グループとして価値観を共有し、また組織力の向上を図ることを目的としています。



## 「マルチプライビジョン2030」

私たちは、持続的なヘルスケアサービスを提供し、予測困難な時代に対応するレジリエントカンパニーとして、サステナブルな社会に求められる新たな価値を創出し続け、中核事業と新規事業の掛け合わせ（マルチプライ）による加速度的な成長を目指します。

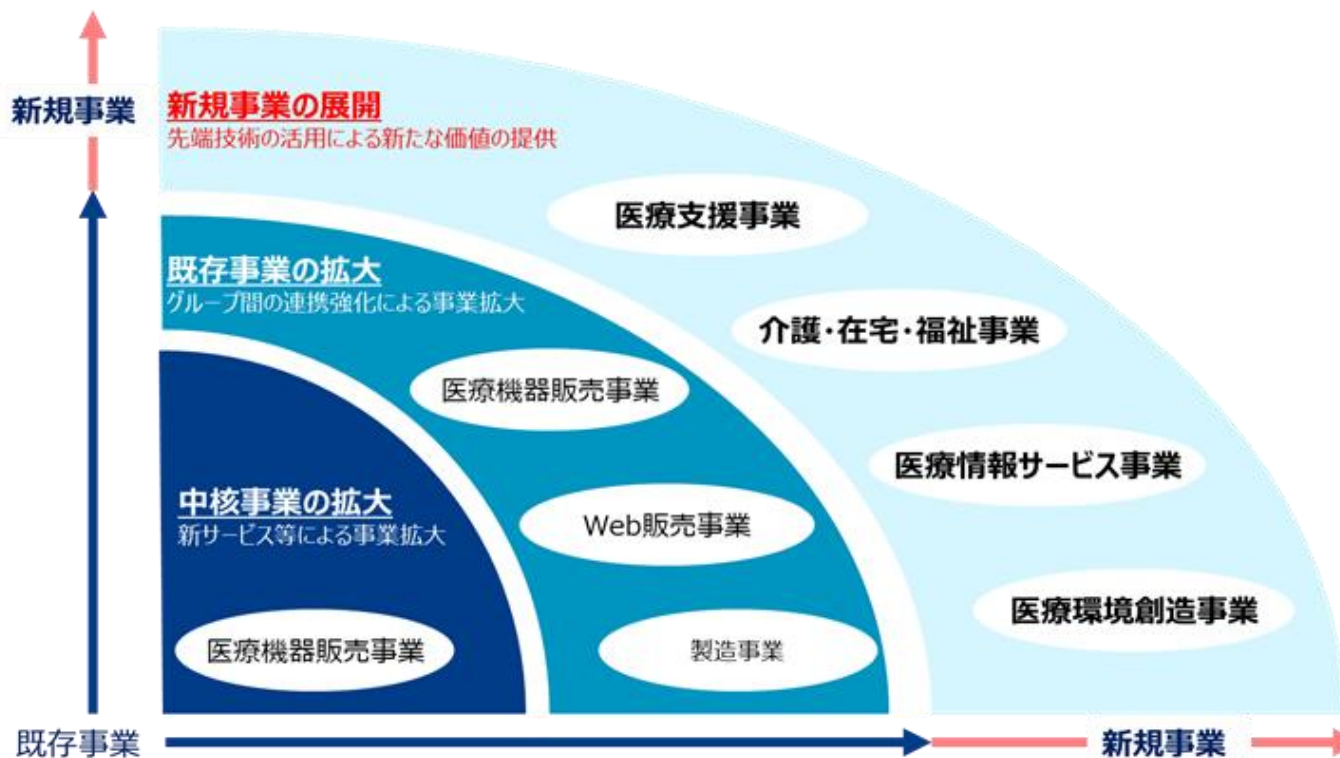
## 当社グループが目指す事業領域

長期ビジョン『マルチプライビジョン2030』では、中核事業との親和性が高い事業の拡充を図り、企業価値の持続的な成長を目指します。



## 当社グループの成長戦略の骨子

中核事業との連携を図りながら、新たな事業ポートフォリオの構築を通して、積極的な価値創出を目指します。





1. 2022年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 新中期経営計画
5. 長期ビジョン
- 6. 今期の見通し**
7. 当社グループに関するご案内



当社グループでは、新型コロナウイルス感染症について未だ今後が見通せず同ウイルスの感染動向、収束時期に左右される先行き不透明な状況が続くものと考えております。

一方、経済全体として発生しているウクライナ情勢の影響などを含めた昨今の原材料不足や、為替円安の影響などによる輸入原材料や輸入製品価格の高騰傾向については、医療業界も同様に影響が出ております。また、診療報酬制度の関係から、価格転嫁が難しい状況もあり、医療産業界全体として大変厳しい状況になるかと推察いたします。

当社グループといたしましては、引き続き医療材料の安定供給体制の確保に努めるなど、地域医療を支えるべく、グループ会社一丸となって取り組んでまいります。





## 【2023年5月期 業績見通し】

**売上高** 531億17百万円  
**営業利益** 5億25百万円  
**経常利益** 5億66百万円  
**親会社株主に帰属する当期純利益** 3億95百万円

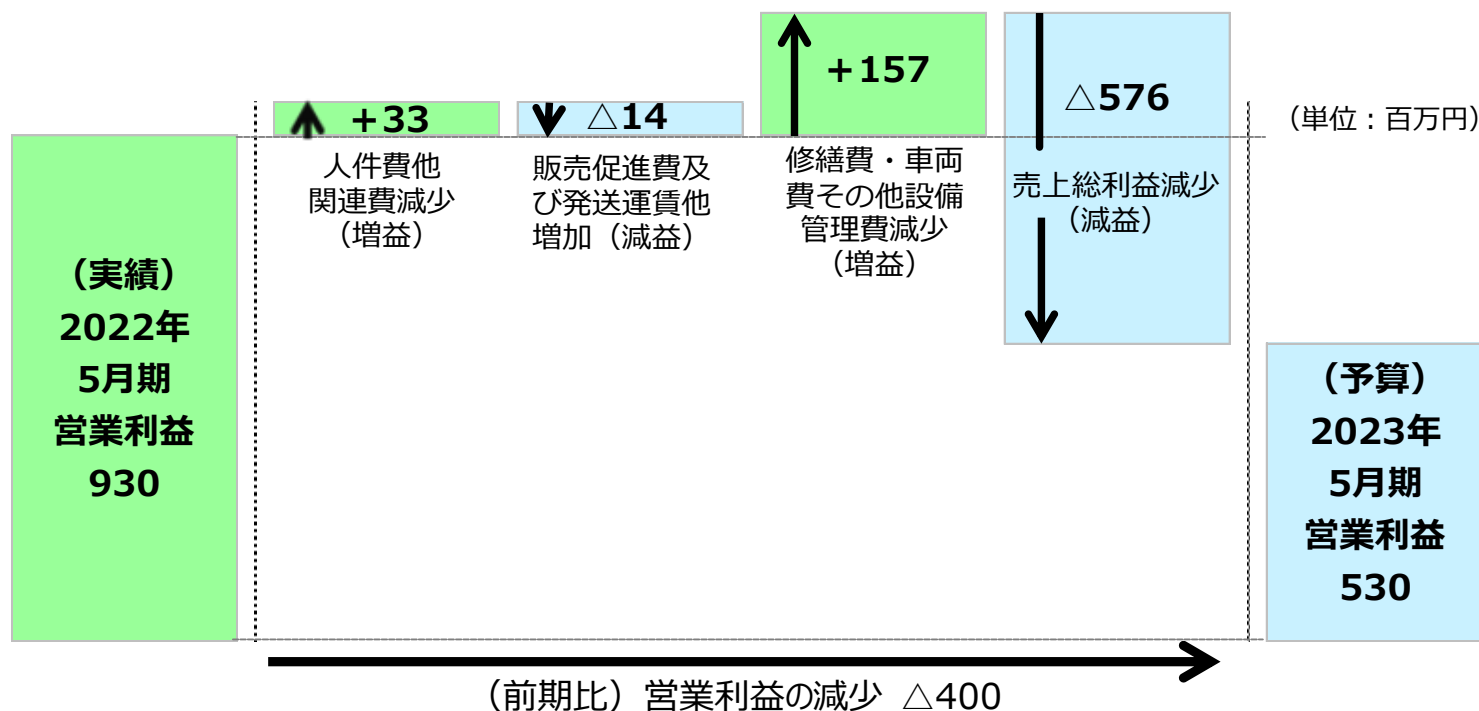
### 【今期の重点施策】

- (1) グループの一体化と戦略機能の強化
- (2) 重点事業領域の拡充
- (3) 人材マネジメント・教育体制推進・健康経営
- (4) 物流体制の更なる強化
- (5) DXの推進
- (6) ガバナンスと内部統制の強化



## ➤ 前期からの減収減益要因

- 前期は補助予算等によるコロナ関連商品の特需があったが今期は見込めず
- 売上減少に伴い売上総利益が減少するため、営業利益は減益を見込む





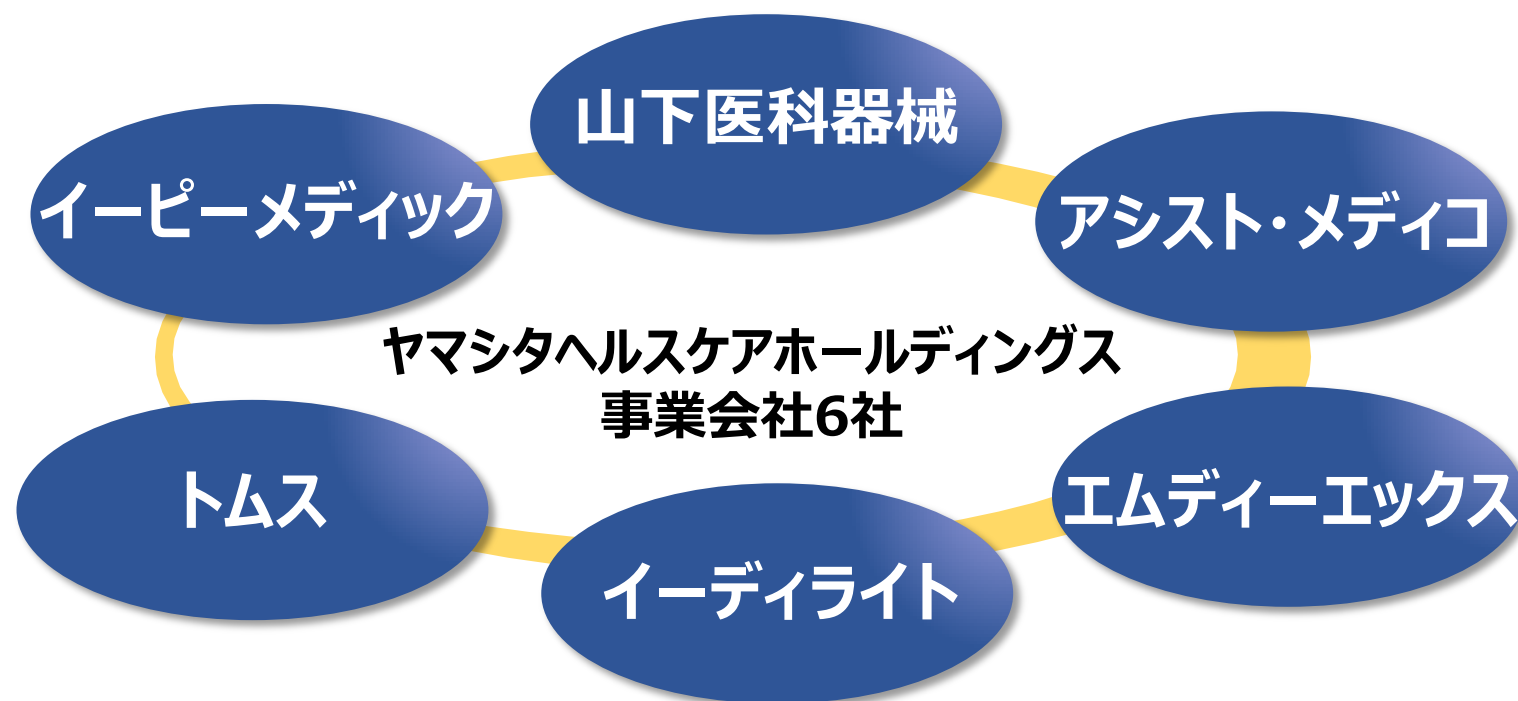


### 〔今期の主な施策〕

- (1) グループの一体化と戦略機能の強化
- (2) 重点事業領域の拡充
- (3) 人材マネジメント・教育体制推進・健康経営
- (4) 物流体制の更なる強化
- (5) デジタルトランスフォーメーション(D X)の推進
- (6) ガバナンスと内部統制の強化



## (1)グループの一体化と戦略機能の強化



情報共有および相互補完、事業会社が本業に集中できる環境を構築します。  
また、グループ内経営資源の効率的な運用を進め、収益力の向上を目指します。



## (2) 重点事業領域の拡充

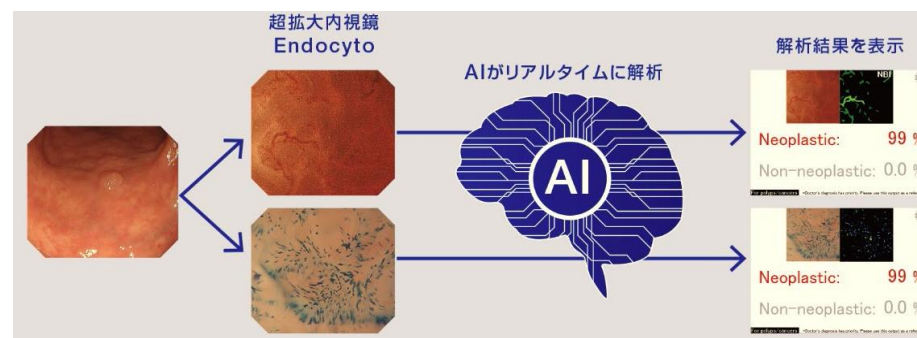
急性期病院の手術室や検査室をトータル・コーディネート

✓高度医療機器や低侵襲治療機器等の主力商品導入を支援

✓内視鏡画像を**人工知能（AI）**で解析し、医師の診断を補助する内視鏡画像診断支援ソフトウェアなど、高い診断精度を導く製品を提案



画像提供：オリンパスマーケティング(株)



オリンパス(株)内視鏡画像診断支援ソフトウェア より



## (2) 重点事業領域の拡充

✓「**自然落下制御式輸液装置**」の市場拡大を図るべく、医療及び介護関連施設に向け、同装置のレンタル事業を全国独占展開しています。



✓NTT東日本との協業「**医療機関向けICTサービス**」は、医療機関で求められているWi-Fi環境の導入から運用までを一括サポートするサービス「MediらくWi-Fi」、そしてクラウド上で映像を管理し、導入の障壁が低く、トラブル防止に活用できる「Mediらくカメラ」を提供しています。



✓「**注射調剤・監査支援システム**」は、薬品の取り揃えを確実にサポートするとともに、多方面からの処方監査機能を充実させるものです。注射払出支援のみでなく処方監査、モニタリング機能を強化し、相互作用チェック等を行い、医療事故につながりかねないインシデントを未然に防ぐ機能を有しています。



注射調剤・監査支援システム iPS  
Injection Pharmacy Zipang System





## (3) 人材マネジメント・教育体制推進・健康経営

当社グループの人材情報を統合的にマネジメントする体制を構築し、採用から、研修、キャリア形成を一体的に捉える、戦略的な人事管理体制の推進を図ります。

併せて、多様なカリキュラムによる従業員研修を実施し、当社グループ事業を支える人材育成に取り組めます。

また、従業員が健康的に働くことができる職場環境の整備に努め、時間外労働の削減や有給休暇の取得促進、全従業員の健康診断受診等、健康経営を積極的に実践し、組織の活性化を図ります。





# 今期の主な施策

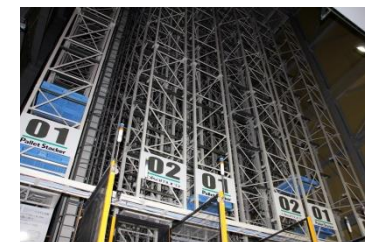


## (4) 物流体制の更なる強化

### 福岡SPDセンター



### 鳥栖物流センター



### 長崎物流センター



### 鳥栖SPDセンター



- ✓ 非常時における安定供給確保
- ✓ 納期短縮かつ顧客の利便性向上
- ✓ 医療機関をサポートする多品種少量管理
- ✓ MAL事業部による事業推進と効率化

※MAL  
Medical Active Logistics の略





## (5) DXの推進

顧客視点での価値創出に向け、ビジネスモデルや業務プロセス、企業文化の改革を行いながら、当社グループの企業価値高めるツールとしてのデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進します。

## (6) ガバナンスと内部統制の強化

当社グループは、法令遵守はもとより、企業倫理への取り組みの重要性を認識するとともに、変動する企業環境に対応した迅速な経営意思決定と経営の健全性向上を図ることによって、企業価値を継続して高めていくことを経営の最重要課題の一つとして位置付けております。

その実現のために、株主の皆様をはじめ、お客様、取引先、地域社会、従業員等のステークホルダーとの良好な関係を築くとともに、株主総会、取締役会、監査等委員会、会計監査人等、法律上の機能制度を一層強化・改善・整備しながら、コーポレート・ガバナンスを充実させてまいります。



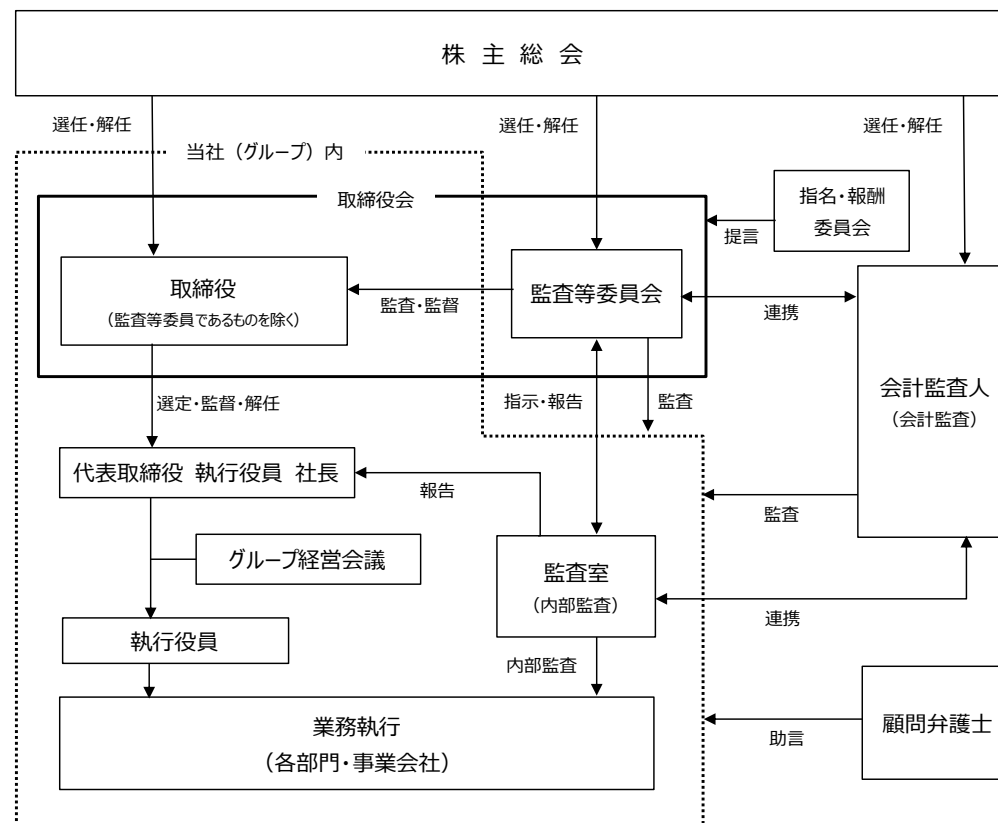
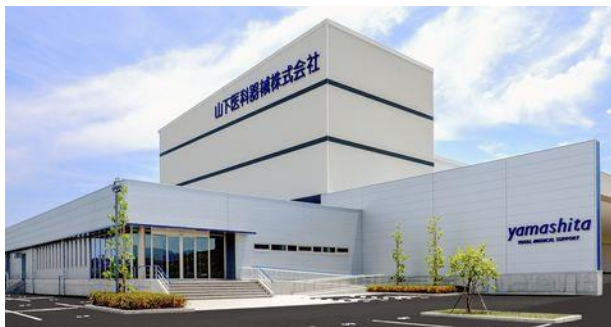
1. 2022年5月期 業績の概況
2. 事業分野別概要
3. 決算概要
4. 新中期経営計画
5. 長期ビジョン
6. 今期の見通し

## **7. 当社グループに関するご案内**



## コーポレート・ガバナンス体制

当社におけるコーポレート・ガバナンスは、企業価値の最大化に努め、株主利益の実現を図るとともに、企業倫理の向上に取り組みます。また執行役員制度を導入し、機動的な企業運営を行い、企業として健全な経営体制を構築しております。





### コロナ禍における当社方針・体制

当社は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対し、「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、基本方針および対応指針を掲げるとともに、当社グループ各社において、引き続き様々な対策を行っております。  
お客様、取引先様、全従業員とご家族の 安心・安全を確保しながら、医療機器、医療消耗品等の安定供給に努めております。

#### 【基本方針】

『新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、正社員、パート社員及び派遣社員を含むグループ全従業員とご家族の安心・安全確保を基本方針とする。』

また、当社は基本方針の他、予防対策などを定め、併せて従業員本人及び家族に感染・濃厚接触の疑いがある場合は、会社へ報告することを義務付けており、同時に、国・各都道府県・医療機関等への報告・相談・指示に従って対応し、社内における状況把握をおこなっております。



## 株式会社イーディライトの連結子会社化

当社は、2021年11月15日付にて、当社の持分法適用関連会社である株式会社イーディライトの株式を取得し、連結子会社化いたしました。

同社は、医科向け顧客関係管理サービス「EPARK」サイトの取次をはじめ、ネットワーク関連商材を提供しており、当社グループとの事業には関連性があり、今回の連結子会社化により、高いシナジー効果が発揮できるものと期待しています。

| 項 目            | 会 社 概 要                                                                                                |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名 称            | 株式会社イーディライト                                                                                            |
| 所 在 地          | 福岡市博多区博多駅東2丁目4-17 第6岡部ビル6F                                                                             |
| 代 表 者          | 代表取締役 喜多弘治                                                                                             |
| 事業内容           | EPARKクリニック・病院の掲載取次、医療ICTの促進事業等                                                                         |
| 資 本 金          | 5,000万円                                                                                                |
| 設立年月           | 2017年3月                                                                                                |
| 大株主および<br>持株比率 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社（66%）</li> <li>・株式会社EPARK（34%）</li> </ul> |







## エムディーエックス株式会社を設立

当社は2022年2月17日付にて、100%出資となるエムディーエックス株式会社を設立いたしました。

同社は、医療・介護分野の業務環境改善、ならびにヘルスケア領域を支える人材の確保と適正化に貢献するため、ITやRPA等の新技術を駆使した新たな製品・サービスの開発・提供を目的としています。

| 項 目      | 会 社 概 要                     |
|----------|-----------------------------|
| 名 称      | エムディーエックス株式会社（略称：MDXs）      |
| 所 在 地    | 福岡市博多区下川端町2-1 博多座・西銀ビル10F   |
| 代 表 者    | 代表取締役 嘉村厚                   |
| 事業内容     | 医療・介護施設・在宅向け製品の販売、レンタル、保守等  |
| 資 本 金    | 4,000万円                     |
| 設立年月     | 2022年2月                     |
| 大株主・持株比率 | ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社（100%） |



MEDICAL  
TRANSFORMATION  
SYSTEMS





## ESG経営への取り組み

当社は、環境的・社会的・経済的側面に配慮しながら、トータルヘルスケアサービスの事業活動に取り組み、地域とともにサステナブルな社会を実現し、企業価値向上を目指すことを重要課題と位置づけ、「ESG基本方針」を策定しております。

### 【ESG基本方針】



#### 〔Environment：環境に対する方針〕

『私たちは、環境保全もまた人類共通の重要課題と認識します。当社グループの事業活動において、省エネルギーに資する設備の導入やエネルギー効率を高める運用改善などを推進し、CO2排出抑制と省エネルギーに貢献し、自然環境への配慮と負荷の低減に努めます。』

#### 〔Social：社会に対する方針〕

『私たちは、地域、社会の期待に応える幅広いヘルスケアサービスの提供によって、地域の発展を支えています。また、価値創造に貢献できる高い専門性を持つ人材育成、多様性のある人材活用を通じ、全てのステークホルダーと協働することで、社会が抱える課題解決に取り組みます。』

#### 〔Governance：ガバナンスに対する方針〕

『私たちは、関連法規をはじめ、コンプライアンス遵守に努め、社会の規範となる高度な倫理性に根ざした事業活動に努めます。また、経営の透明性を高めることにより、企業価値を更に向上させていきます。』



## 『社会貢献債』へのESG投資

当社は、独立行政法人国際協力機構（以下JICA）が発行するソーシャルボンド（社会貢献債）※へ2021年6月に投資いたしました。このJICAが調達した資金は、JICAが実施機関となっている政府開発援助（ODA）の有償資金協力事業を通じて、開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために使用されるものです。

当社及び当社グループは、今後も本債券をはじめとする社会貢献債等へのESG投資や、その他事業活動を通じて、環境や社会問題への取り組みを支援し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※ソーシャルボンドとは、調達された資金が、基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等、社会課題への対応を目的とした分野への、投融資に利用されることを前提として発行される債券です。



学校建設/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



井戸開発/PHOTO:JICA/Shinichi Kuno



### ウクライナ情勢を踏まえた人道的支援

当社は2022年5月、ウクライナ在日大使館及び日本国政府の要請に応じ、ウクライナおよびその周辺地域で避難を余儀なくされている方々への人道的支援のため、政府を通じて輸液装置※100台の提供を実施いたしました。

輸液装置は、同月 無事にドニプロペトロウシク州の州都ドニプロに到着し、近隣地域の医療施設で活用されている旨の報告を現地責任者より受けております。

※当社が資本業務提携 している製造販売会社 株式会社アイムの協力のもと、この輸液装置を提供いたしました。同商品名は自然落下制御式輸液装置「FLOWSIGN」で、電池式のため電源供給が困難な状況にあっても場所を選ばず、精密制御で安定的に利用できるようになっております。より安全で、精密で、使いやすく、しかも低コストである輸液装置をという医療現場の声に応えるべく、同社独自の特許技術をもって開発された商品となります。



自然落下制御式輸液装置  
FLOWSIGN 03W





### 『健康経営優良法人2022』認定

当社グループの山下医科器械株式会社は、経済産業省「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」の認定を受けました。

健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している企業法人等を顕彰する制度です。

同社は経営理念「地域医療に貢献する」を実践するため、「健康経営方針」および「健康宣言」を掲げ、さまざまな取り組みを行っています。

今後も、当社グループでは関係機関と連携をとり、また指導をいただきながら、社員とともに健康経営への取り組みを進めてまいります。



2022

健康経営優良法人

Health and productivity





## 株主優待制度

### 〔対象となる株主様〕

毎年5月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単位（100株）以上を保有する株主の皆様を対象に、年1回（株主総会後8月下旬）、株主優待を実施しております。

### 〔優待の内容〕

保有株式数および継続保有期間に応じて優待品を贈呈いたします。  
(当社オリジナルクオカード)

| 保有株式<br>/ 保有期間 | 1年未満     | 1年以上3年未満<br>※1,3 | 3年以上<br>※2,3 |
|----------------|----------|------------------|--------------|
| 100～999株       | 500円相当   | 1,000円相当         | 1,500円相当     |
| 1,000～1,999株   | 1,000円相当 | 2,000円相当         | 3,000円相当     |
| 2,000株以上       | 1,500円相当 | 3,000円相当         | 4,500円相当     |

- ※1. 継続保有期間の「1年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して2回以上記載または記録されることとします。
- ※2. 継続保有期間の「3年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して4回以上記載または記録されることとします。
- ※3. 1年以上継続保有された株主様へのクオカード贈呈額は、当年5月31日の保有株式数を基準といたします。



### 〔株主優待の適用時期〕

継続保有期間の判定は、2018年5月31日を起算日とさせていただきます。

※証券会社の貸株サービスをご利用の株主様は、株主優待の対象から外れる場合がございますので、詳しくはご利用の証券会社にお尋ねください。



本資料は、当社の事業内容等につきご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。  
今後の業績等については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。  
投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

### お問い合わせ先

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 経営企画室 総務課

T E L : 092-402-2922

F A X : 092-402-2962

E - M A I L : [legal@yamashitaika.co.jp](mailto:legal@yamashitaika.co.jp)

U R L : <https://www.yhchd.co.jp/>

